

再評価結果（平成21年度事業継続箇所）

担当課：九州地方整備局 建政部 都市・住宅整備課
担当課長名：福本 仁志

事業名 都市計画道路 <small>ぎ おんの す やなぎはら</small> 祇園州柳原線外1線	事業区分 街 路	事業主体 大 分 県
起終点 自：臼杵市大字臼杵 <small>うすき</small> 至：臼杵市大字海添 <small>かいぞえ</small>		延長 0.841km
事業概要 当路線は、国道217号と市街地中心部を結ぶ生活、産業上重要な幹線道路である。家屋が密集し幅員も狭いうえ歩道も無いことから、本線整備及び歩道設置を行い、都市内交通の円滑化と歩行者の安全を図る。また臼杵城や二王座地区など歴史的資源が集積していることから、電線類地中化を行う。		
H11年度事業化	S33年度都市計画決定 (H11年度変更)	H12年度用地着手
全体事業費 60億円		事業進捗率(H20末) 58.3%
計画交通量 6,600台/日		供用済延長 0km
費用対効果分析結果 B/C (事業全体) 1.0 (残事業)	総費用 (残事業)/(事業全体) / 56億円 (事業費) / 56億円 (維持管理費) / 0.27億円	総便益 (残事業)/(事業全体) / 58億円 (走行時間短縮便益) / 49億円 (走行経費減少便益) / 8.1億円 (交通事故減少便益) / 1.0億円
基準年 平成20年		
事業の効果等 通勤通学時の交通混雑を解消し、歩行者の安全を確保 市街地への誘導路、歴史的街並みへの散策路として観光産業の活性化に寄与		
関係する地方公共団体等の意見 臼杵市は臼杵城跡周辺地区の景観整備を行っており、本事業と一体的に整備を実施する必要がある		
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 臼杵城の大手門や周辺部には公園や街路が整備されている		
事業の進捗状況、残事業の内容等 H20末の進捗率は58%を予定しており、H22には一部区間を供用し、引き続き工事を推進していく		
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 一部地権者との用地交渉が難航していたが、契約の目処が付いたため、早期完成を目指し推進していく		
施設の構造や工法の変更等 再生材（アスファルト等）の利用を促進し、環境に配慮した整備を行っている。		
対応方針 事業継続		
対応方針決定の理由 上記勘案し、必要性が認められるため		
事業概要図		

※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。